

**自民党**

TOKAメールは 前衆議院議員 とかしきなおみの政治活動を報告しています。 &lt;討議資料&gt;

前衆議院議員 自民党大阪7区(吹田市・摂津市)支部長

# とかしきなおみ

とかしきなおみ後援会事務所 〒564-0026 吹田市高浜町9-16 TEL.06-6319-1535 FAX.06-6319-1536



**私**が厚労副大臣在任の2016年にマレーシアで行われた「保健医療サービス国際会議」に参加した時の話です。

複数国の厚労大臣から「医療制度のメリットを国民に説明するのが難しいので、医療費が無料になる制度ですよと言って加入を推奨しています」との発言がありました。

日本の代表として私が答えたのは「無償を訴えて国民に医療制度を勧誘する方法はお勧めできません。我が国では1973年に70歳以上の高齢者の医療費を無償にする政策を導入しましたが、給付と負担のバランスが大きく崩れ、10年と持たず廃止となりました。無償化は最初だけ国民に歓迎される制度です。

しかしすぐに当たり前になり、時間が経てばあれもこれも無償化してほしい!と要望はどんどん大きくなります。無償化にあたり重要なのは『財源』です。



## 「無償化」政策の落とし穴

一度はじめてしまえば基本的には中止は許されず、恒久財源が必要となります。

国民の『無償化』の期待に応え続けるためには、将来の財源にまで手をつけることになりかねません。『無償化』の負の連鎖を回避するには、低額でも国民に一部負担をしてもらう制度にしておくことが重要です。費用をやり取りしているので、サービスの提供をする側も受ける側も責任と義務が発生し、真摯に取り組むようになります。」私の意見を聞いた各国の厚労大臣からは「無償化は考え直します」という声を多く頂きました。

あれから時は流れ…現在我が国を覆っている多くの政策は、「こども医療費の無償化」「出産費用の無償化」「幼児教育・保育の無償化」「給食費の無償化」「高校の無償化」「大学の無償化」など、まさに無償化の嵐です。

耳障りの良い「無償化」の政策には見えないところで落とし穴があるということをしっかり認識してから前に進めていくことが重要です。

「美味しい話には、裏がある」と肝に銘じる時期が来ています。



# 薬剤師『とかしきなおみ』のワンポイントアドバイス

新型コロナウイルス感染症は、5月8日から5類感染症へ変更され、以下の見直しが行われますので表にまとめました。分類見直しがされてもコロナがなくなった訳ではありませんので、引き続き気を付けて対応願います。

新型コロナ 分類見直し		
	2類相当	5類
入院	感染症指定医療機関や都道府県が認めた医療機関	限定なし
費用	公費負担	原則自己負担
行動制限	あり	なし
検査費用	公費支援	公費支援は終了



NHK記事より一部抜粋

# LINE で応援!



こちらのQRコードをかざして読み取りできます!



## 【プロフィール】

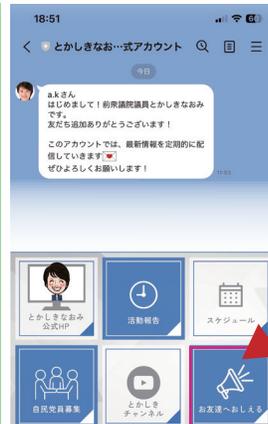
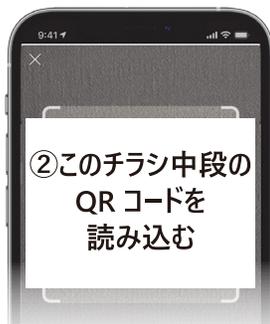
1962年京都市生まれ  
昭和大学薬学部卒業（薬剤師免許取得）  
早稲田大学ビジネススクール卒業  
東京都杉並区議会議員連続2期  
2005年衆議院小選挙区にて初当選

## 【これまでの主な役職】

厚生労働副大臣  
環境副大臣  
衆議院 厚生労働委員長  
党 厚生労働部会長  
党 環境部会長

## LINE 登録の手順 簡単! 3step!

LINE アプリ を開く



## 拡散の方法

画面右下の「お友達へおしえる」

から

お知り合いの方に

# 拡散

をお願いします

皆様が知りたい  
政治・経済について  
わかりやすく解説!

Youtube  
とかしきチャンネル

